

CAFE + MUSEUM SHOP

ミュージアムショップでは、展覧会図録や関連書籍、ポストカード、静岡市美術館のオリジナルグッズなどを販売しています。併設のカフェでは、香り高いコーヒーや静岡産の紅茶などもお楽しみいただけます。



オリジナルグッズ

- ・マグカップ ・マスキングテープ
- ・缶バッジ ・色鉛筆 ・茶アメ

※販売状況により在庫がない可能性があります

美術館からのお願い



展示作品にはお手を触れない
ようお願いします



展示室内での
撮影はご遠慮ください



作品保護のため、展示室内では
鉛筆以外の筆記用具の使用は
ご遠慮ください



展示室内では携帯電話は
マナーモードにし、
使用はご遠慮ください



カフェ以外での
飲食はご遠慮ください



ペットをお連れの方、植物を
お持ちの方は入館できません

新型コロナウイルス感染拡大防止に関するお願い



発熱、咳等の症状があるなど
体調のすぐれない場合は、
ご来館をご遠慮ください



マスクの着用をお願いします
※2歳未満のお子さんは不要



入館時の検温に
ご協力ください



他のお客様との一定の
距離の確保をお願いします



手洗い・手指の消毒を
お願いします



展示室内での
会話はご遠慮ください

※混雑緩和のため、日時指定制(web予約)を導入しています

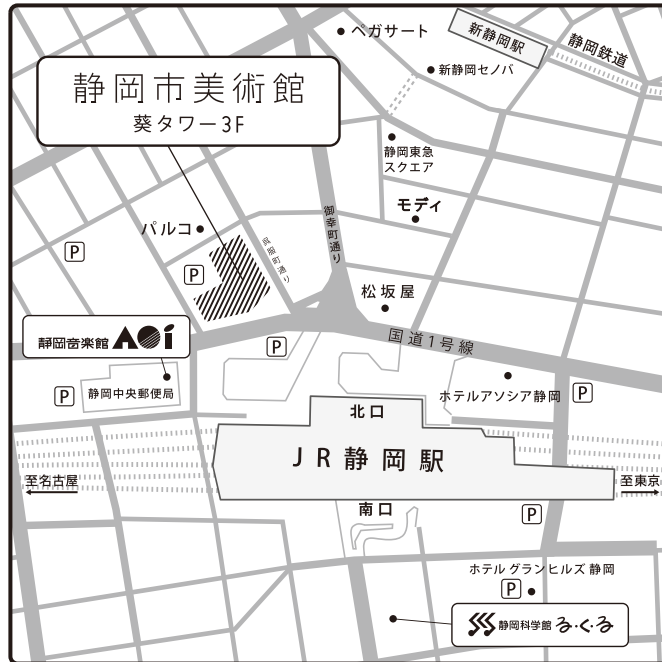
サービス



コインロッカー／傘立て
※ご利用の際、100円硬貨が必要です。使用後に返却されます。



車いす・ベビーカー貸出
※インフォメーションにて無料で貸し出しています。



静岡・音楽館×科学館×美術館 共同事業

静岡駅前の静岡音楽館AOI、静岡科学館・く・る、静岡市美術館では、三館共同事業を開催しています。

- 《電車》 JR静岡駅北口より地下道を利用して徒歩3分
静岡鉄道新静岡駅より徒歩5分
- 《新幹線》 東京駅・名古屋駅から東海道新幹線ひかり号で約1時間
新大阪駅から東海道新幹線ひかり号で約2時間
- 《車》 東名静岡ICより約15分
※お車でお越しの際は、近隣の駐車場をご利用ください。
- 《空路》 富士山静岡空港より静鉄バス
(静岡エアポートライナー)で約1時間

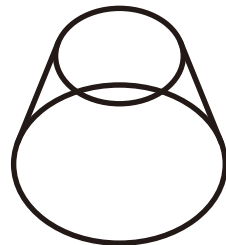
- 開館時間 10:00～19:00(展示室入場は閉館30分前まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は開館、翌日休館)
年末年始
- 観覧料 展覧会により異なる。中学生以下無料。
交流ゾーン、ショップ利用は無料。

◎展示替え期間中も交流ゾーンは開館しています。

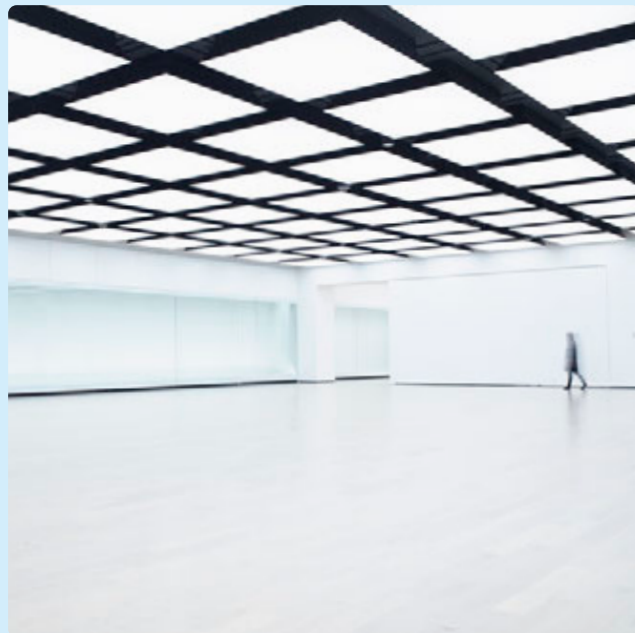
夜7時まで開館

〒420-0852 静岡市葵区紺屋町17-1 葵タワー3F
Aoi Tower 3F, 17-1, Koyamachi, Aoi-ku, Shizuoka, 420-0852 JAPAN
tel. 054-273-1515 (代表) fax. 054-273-1518 www.shizubi.jp

スケジュール 2021-2022



静岡市美術館 SHIZUOKA CITY MUSEUM of ART

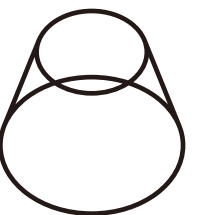


静岡市美術館は、JR静岡駅北口の「葵タワー」3階に、2010年開館しました。「人・地域が躍動する芸術文化の創造・発信」を基本理念としています。展覧会事業と交流事業を柱に、“街の中の広場”のような美術館を目指しています。



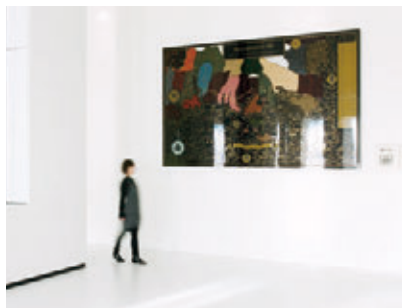
美術館ロゴマーク

ロゴマークは、静岡、そして日本を象徴する富士山をモチーフにしています。重ねられた2つの円には、美術館を中心とした人の輪の広がり、地域と世界を結ぶイメージが表わされています。また、視点と奥行きの変化による“視ることの楽しさ”にも気付かせてくれます。



東海道五十三次ひとめ図

2012年1月、東海道を“ひとめ”で見渡せる漆工芸作品がエントランスホールに誕生しました。静岡の伝統工芸を今に伝える、蒔絵師、塗師、指物師の皆さんによる2×3mの大きな作品です。



キューガーデン

英国王室が愛した花々 シャーロット王妃とボタニカルアート

2021年4月15日(木)－6月6日(日)

世界遺産にも登録されている英国王立植物園「キューガーデン」は、18世紀半ばの開園以来、世界の植物学研究をリードし続け、植物標本のほか20万点以上のボタニカルアート(植物画)を収蔵していることでも知られています。本展は、18-19世紀に描かれたボタニカルアートのほか、キューガーデンの発展に寄与した国王ジョージ3世の妃シャーロットが愛したウェッジウッドのクイーンズウェアなど、約130点を通じてキューガーデンの歴史を紐解きます。観察に基づいた精密な描写と美しさが融合するボタニカルアートの世界をお楽しみください。

トマス・ハーヴェイ夫人
《ローザ・ケンティフォリア(キャベツローズ)と
ローザ・ガリカ(フレンチローズ)の栽培品種
(バラ科)》1800年 キュー王立植物園
© The Board of Trustees of the Royal
Botanic Gardens, Kew



没後70年

吉田博展

2021年6月19日(土)－8月29日(日)

吉田博(1876-1950)は明治から昭和にかけて、風景画の第一人者として活躍した洋画家です。その後半生には西洋画の写実的な描写と日本の伝統的な木版技法を統合した新しい木版画の創造に没頭しました。平均して30回以上もの摺りを重ね、精緻なグラデーションを駆使した木版画は、大自然を捉えた清新な作風で世界を魅了しました。かのダイアナ妃の執務室に吉田博の木版画が飾られていたことも近年話題になりました。本展では、木版画約200点に加え、水彩画、油彩画、写生帖のほか初公開の版木も交えてご紹介します。



吉田博《朝日》1926年

生誕160年記念

グランマ・モーゼス展 ―素敵な100年人生

2021年9月14日(火)－11月7日(日)

グランマ・モーゼスの愛称で親しまれるアンナ・メアリー・ロバートソン・モーゼス(1860-1961)は、70代で本格的に絵筆を取り、101歳で亡くなる年まで1600点以上の作品を遺しました。アメリカ、ニュー・イングランド地方の自然や農村の暮らしを素朴な筆致で描いたこれらの絵は、偶然、村を訪れたコレクターの目に留まり、80歳で初個展を開催すると、一躍アメリカ全土が知る人気画家となります。本展では、油彩画、愛用品や関連資料など、日本初公開を含む約130点を紹介し、この世界の美しさや、ささやかな喜びを描き続けたモーゼスの魅力に迫ります。



アンナ・メアリー・ロバートソン・「グランマ」・モーゼス 《アップル・バター作り》
1947年 個人蔵(ギャラリー・セント・エディエンヌ、ニューヨーク寄託)
© 2021, Grandma Moses Properties Co., NY

ランス美術館コレクション

風景画のはじまり コローから印象派へ

2021年11月20日(土)－2022年1月23日(日)

19世紀のフランスでは風景画が大いに発展しました。神話や歴史の背景ではなく絵画の主題そのものとして風景が捉えられるようになり、チューブ入り絵具の発明や鉄道網の発達が画家たちを戸外制作へと導いたのです。本展は、19世紀フランス絵画、特にカミーユ・コローの作品を数多く所蔵するランス美術館のコレクションを中心に、コローの名作のほか、バルビゾンの画家たち、ウジェーヌ・ブーダンを経て印象派のクロード・モネ、カミーユ・ピサロに至る70点あまりを選びすぐり、フランス近代風景画の歴史をたどります。



クロード・モネ《ベリールルの岩礁》1886年
ランス美術館
© MBA Reims 2019/Photo : C.Devleeschauwer

平等院開創970年 鳳凰堂と浄土院の名宝

浄土への憧憬と祈り(仮)

2022年2月5日(土)－3月27日(日)

京都府南部を流れる宇治川の畔に伽藍を構える平等院は、永承7(1052)年に関白・藤原頼通が父道長から相続した別荘を仏寺に改めて建立された名刹です。伽藍の中枢に位置する阿弥陀堂は「鳳凰堂」の名で広く親しまれ、本尊阿弥陀如来坐像を中心に極楽浄土を表現した堂内の華麗な荘厳は、洗練された平安貴族の美意識を今に伝えています。本展では鳳凰堂に安置される国宝《雲中供養菩薩像》をはじめ、養林庵書院(重文)障壁画、初公開の平安彫刻など、塔頭の浄土院に伝来した宝物を中心に展観し、970年の歴史を誇る平等院の信仰と美をご覧ください。



国宝
《雲中供養菩薩像 南1号》
天喜元(1053)年
平等院
※出品作品は
異なる場合があります。

©平等院

交流事業

ミュージアムショップ&カフェのあるエントランスホールや、多目的室、ワークショップ室を「交流ゾーン」と呼んでいます。ここでは様々なアートシーンの紹介や講演会、シンポジウム、コンサート、映画上映やワークショップなどを実施しています。また、展覧会ごとに学校等の団体を対象にした鑑賞教室「ミュージアム教室」も実施しています。詳しくはお問い合わせください。



めぐるアート静岡2020 ワタリドリ計画(麻生知子・武内明子)



(上) ワークショップ室 「オープンアトリエ」のようす
(下) 多目的室 講演会のようす